

# ヒナコウモリ科の仲間

Vespertilionidae sp.

## ヒナコウモリ科

### 「コウモリ」の由来

漢字名: 蝙蝠

蚊を食べるから「蚊欲(かほり)」が転じたという説、翼の様子から「皮張り」が転じたという説、川守(かわもり)が転じたという説などがある。

十勝地方で確認されているコウモリは13種(2003年現在)で、コキクガシラコウモリ(キクガシラコウモリ科)以外はすべてヒナコウモリ科の仲間である。環境省レッドリスト(2007)ですべて指定からはずされた。

### コウモリ(小型)一般の特徴

目は大変に小さく明暗を感じる程度。超音波を口や鼻から発してその反響音で障害物・餌・自分自身の位置を判断する。熱帯地域を除き、冬には体温を下げて冬眠する。十勝地方のアイヌ語では「カパカカムイ」という。

科名	種名	国レッド
キクガシラコウモリ科	コキクガシラコウモリ	—
	モモジロコウモリ	—
	ドーベントンコウモリ	—
	ホオヒゲコウモリ	—
ヒナコウモリ科	ヒメホオヒゲコウモリ	—
	カグヤコウモリ	—
	キタクビワコウモリ	—
	ヤマコウモリ	—
	ヒナコウモリ	—
	チチブコウモリ	—
	ウサギコウモリ	—
	テングコウモリ	—
	コテングコウモリ	—

魚類

底生動物

両生類  
爬虫類

トンボ

チョウ

樹木

(在来種)  
草花

(外来種)  
草花

哺乳類

(水辺)  
鳥類

(草原)  
鳥類  
樹林

### 食性

主に飛びながら小型の昆虫を捕食する。出前にねぐらに帰る。日没前にねぐらの穴から出て、飛翔する昆虫を食べ、日の

### 繁殖生態

秋に交尾をし、排卵・受精は冬眠明けの春に行われるのがほとんどである。

### 生活サイクル

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
出現期					■	■	■	■	■	■		
交尾期									■	■	■	■
冬眠期	■	■	■	■	■					■	■	■
受精・出産・育児					■	■	■	■				

## モモジロコウモリ

*Myotis macrodactylus*

ヒナコウモリ科

### 名前の由来

モモジロは下腹部から大腿部に白い毛が生えているため。漢字名: 腿白蝙蝠



### 形態的特徴

頭胴長(鼻先から尻尾の付け根まで) 44~63mm、前腕長(肘の後端から腕関節までの長さ) 34~41mm、体重5.5~11g。耳は比較的細長い。後ろ足が大きい。暗い黒褐色系の毛色で、下腹部から大腿部に白い毛が生えている。

### 繁殖生態

交尾期は10~11月、翌春に受精、妊娠期間は約3ヶ月、1子を産み、30~35日哺育する。初産年齢は2歳。寿命は最長で19年だという。

### 生息環境・分布

昼間の隠れ家は洞穴。採食場所は河川、丘陵地・森林(樹幹の間や樹冠付近)。

分布: 国外分布は、東シベリアや南サハリンに分布。国内分布は、北海道、本州、四国、九州、佐渡、対馬に分布。

北海道内では、上川北部・宗谷を除く地域に分布。

十勝地方では、十勝川中流部、芽室町、糠平で確認されている。

### 興味深い話

- 体に何か触れている状態を好み、岩の割れ目などにもぐり込むか、集団の場合は密な群塊をつくるという。
- 腹這い行動をする習性が強く、洞窟の天井をはっていき、

他の種のコロニーに参入して混群をつくるという。

- 夏出産時にはオス、メス集合しての大コロニー<sup>\*</sup>を形成し、春秋にはオス、メス分かれたコロニーをつくるという。

\*コロニー: 集団のひとつかたまり、集団ねぐら、集団営巣地

## ヒナコウモリ科の仲間

# ドーベントンコウモリ

*Myotis daubentonii*

ヒナコウモリ科

### 名前の由来

英名「Daubenton's bat」から来ていると思われる。  
Daubentonは人名。漢字名：ドーベントン蝙蝠



### 特定種

北海道レッドデータ：希少種 (R)

### 形態的特徴

頭胴長(鼻先から尻尾の付け根まで) 44~56mm、前腕長(肘の後端から腕関節までの長さ) 34~39mm、体重 4~10 g。  
後ろ足が大きい。体毛は黒褐色で背中中はベージュ色を帯びた灰色である。

### 繁殖生態

交尾期は10~11月、翌春に受精、妊娠期間は約3ヶ月、1子を産み、30~35日哺育する。  
初産年齢は2歳。寿命は最長で19年だという。

### 生息環境・分布

昼間のねぐらは、樹洞、洞窟、家屋が知られている。  
流れが緩やかで、水表面がなめらかな流水域でよく観察されるといい、樹木に囲まれた小水路でも確認されている。  
分布：国外分布は、イギリスから東シベリア、中国東北部、

朝鮮半島、サハリンまで分布。国内分布は、北海道のみ。  
北海道内では道東、道北に分布。  
十勝地方では十勝川中流域、芽室町、糠平、然別などで確認されている。

魚類

底生動物

両生類  
爬虫類

トンボ

チョウ

樹木

(在来種) 草花

(外来種) 草花

哺乳類

(水辺) 鳥類

(草原・樹林) 鳥類

# カグヤコウモリ

*Myotis frater*

ヒナコウモリ科

### 名前の由来

青森県の竹林で発見されたため「竹→かぐや姫」の連想でつけられたという。漢字名：かぐや蝙蝠



### 特定種

北海道レッドデータ：希少種 (R)

### 形態的特徴

頭胴長(鼻先から尻尾の付け根まで) 44~56mm、前腕長(肘の後端から腕関節までの長さ) 36~41mm、体重5.5~11 g。  
後ろ足が小さい。ヒザから足首までが長く18mm以上ある。  
体毛は黒褐色である。

### 繁殖生態

家屋で、100頭を越える繁殖コロニーをつくることもあるという。初夏に1子を出産、約30日で親ぐらいの大きさになり飛び始める。初産年齢は2歳。

### 生息環境・分布

昼間のねぐらは、本来は樹洞であると考えられている。大木の枯れた樹皮の間で眠るともいわれる。  
夜、樹木に囲まれた小水路で確認されている。  
分布：国外分布は、トルキスタンから東シベリア、東南中

国に分布。国内分布は、北海道と岐阜・石川両県以北の本州。北海道内全域に分布。  
十勝地方では十勝川中流域、芽室町、糠平などで確認されている。

### ヒナコウモリ科一般に対する配慮事項

樹洞のできる木のある樹林、洞窟などのねぐらとできる場所、及び大量に水生昆虫が羽化する樹木に囲まれた水域な

どの採餌場が必要である。

### 参考文献

「コウモリ観察ブック」熊谷さとし・大沢夕志・三笠暁子・大沢啓子共著 桜桃書房 2002  
「日本の哺乳類」阿部永監修 東海大学出版会 1994  
「日本動物大百科1 哺乳類I」日高敏隆 監修 平凡社 1996  
「北海道 森と海の動物たち」エコ・ネットワーク編 北海道新

聞社 1997

「北海道立アイヌ民族文化研究センター調査研究報告書3 アイヌ語十勝方言の基礎語彙集 一本別町・沢井トメノのアイヌ語」澤井春美(編・著)、北海道立アイヌ民族文化研究センター 2006